

・(6-1) 中央地区整備事業対策室所管事業

1. 中央地区整備事業対策室分（にぎわい交流ゾーン）
2. 中央地区整備事業対策室分（学びの杜ゾーン）

平成29年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成28年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央地区整備事業対策室分(にぎわい交流ゾーン)			所管	部	教育文化部	
					課	中央地区整備事業対策室		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成26	年度	
					終了予定	平成30	年度	
実施根拠となる 分野別計画	野々市市都市計画マスタープラン		根拠法令	該当なし				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ヒト・モノの交流によるにぎわい創出の場として、民間活力を活用して、以下の機能を集約し、一体的に整備する。・市民サークル等の活動拠点となる「新中央公民館」・市民と大学等との協働の拠点となる「大学連携拠点」・観光案内や特産品販売の拠点となる「商業施設」				
事業の内容	施設整備にあたり、民間資金やノウハウを活用する手法として「PFI法を適用したBTM方式」を採用し、事業主体となる民間事業者を決定する。事業者を決定するにあたり、専門業者(アドバイザー)の支援を受けながら、諸手続を行う。※PFI法・・・民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律		平成28年度 活動実績	PFI事業契約に定めるところの諸手続を実施・金融機関等と直接契約の締結・事業者との関係会議の開催・新中央公民館の基本設計作業開始				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標	(成果指標になじまない)		**	**	**	**	**
事業のコスト	事業費	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	138,700			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	19,861	16,573	31,712			
		事業費計 (千円)	19,861	16,573	170,412			

実施計画

年度計画	区分	平成30年度計画	平成31年度計画	平成32年度計画
	今後3箇年の展開	↑	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・複合施設整備・整備期間中のモニタリング業務		

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指している。今回整備する施設は、かねてより望まれていた老朽化した中央公民館の建替えのみならず、その機能拡充を図ることにより、にぎわい創出の拠点となるものであり、国の交付金や民間のノウハウを有効に活用して事業に取り組んでいく。平成29年度は老朽建物解体撤去及び新施設の建設工事を開始する。
	C	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		平成29年度は老朽建物解体撤去及び新施設の建設工事を開始する。		

平成29年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成28年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央地区整備事業対策室分(学びの杜ゾーン)			所管	部	教育文化部	
					課	中央地区整備事業対策室		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ハード事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成28	年度	
					終了予定	平成30	年度	
実施根拠となる分野別計画	野々市市都市計画マスタープラン		根拠法令	該当なし				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	学習・文化・芸術に親しむ場として、民間活力を活用して、文化交流拠点施設(市立図書館及び市民学習センター)を整備する。				
事業の内容	施設整備にあたり、民間資金やノウハウを活用する手法として「PFI法を適用したBTO方式」を採用し、事業主体となる民間事業者を決定する。施設整備、維持管理、運営の業務を実施する民間事業者に対するモニタリングを実施する。※PFI法…民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律		平成28年度活動実績	PFI事業契約に定めるところの諸手続きを実施・文化交流拠点施設整備を開始(起工式挙行)・新施設の名称、愛称の決定				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標	(成果指標になじまない)		-	-	-	-	-
事業のコスト	事業内訳	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	1,182,600			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	1,502,400			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	2,117	336	418,854			
	事業費計 (千円)	2,117	336	3,103,854				

実施計画

年度計画	区分	平成30年度計画	平成31年度計画	平成32年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・施設運用後のモニタリング業務		

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 本市では、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じ、市民協働のまちづくりを推進し、地域における様々な市民活動の振興を図り、ヒト、モノが出会い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することを目指している。今回整備する施設は、かねてより望まれていた新市立図書館・市民学習センターの建設として、市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働のシンボルとするものであり、国の交付金や民間のノウハウを有効に活用して事業に取り組んでいく。平成29年度11月に新施設「学びの杜のいちカレード」の開館を目指す。
	C	A		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	平成29年度11月に新施設「学びの杜のいちカレード」の開館を目指す。		

・(6-2) 学識経験者からの意見

市民が待ちに待っている新図書館・市民学習センターが開館します。期待している市民の立場で民間活力を活用し、市民が学習・文化・芸術に親しむ場として、中身の充実を図っていただきたいと思います。

新図書館や新中央公民館について、施設の防犯面や安全面を配慮していただきたいと思います。

また、利用者に動線がわかりやすい配慮もお願いしたいところです。

・(6-3) 今後の方針

- ① 新市立図書館及び市民学習センターの複合施設として「学びの杜ののいちカレード」を平成29年11月に開館します。多くの市民が施設を活用していただけるように運営サービスの向上に努めていきます。
- ② 「学びの杜ののいちカレード」につきましては、防犯、安全面に配慮して整備してきました。今後、整備を進める「新中央公民館」についても、同様に留意していきます。

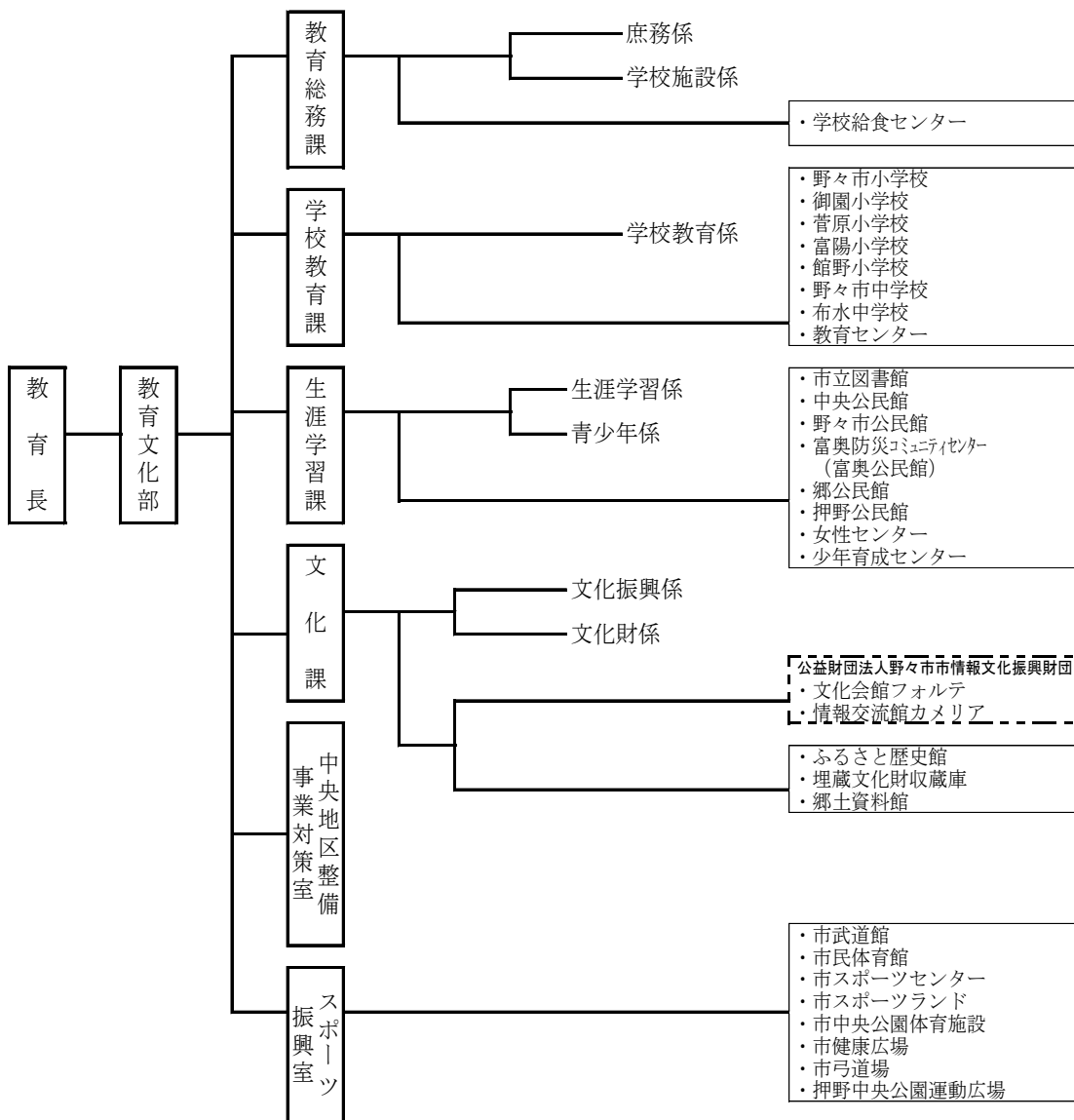
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成 29 年 3 月 31 日現在）

<教育委員会>

教 育 長	堂 坂 雅 光	教育長職務代理者	松 野 勝 夫
委 員	荻 野 直 子	委 員	中 野 恵 美 子
委 員	松 本 哲 幸	委 員	宮 川 美 保 子

<教育委員会事務局組織>



!-----!は管理委託

※市立図書館は平成 29 年 11 月から管理委託

お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

Eメール：kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp